

～～第8689回～～

四尾連湖～蛾ヶ岳

～R1. 5. 18～

蛾ヶ岳は甲府盆地の南に位置し、「ひるがたけ」と読む。戦国大名の武田氏の城から南を望むと、正午頃に太陽が山頂を指すので「昼ヶ岳」となり、中国の峨眉山にかけて「蛾ヶ岳」になったと言い伝えがあるそう。6:50 新静岡セノバやっぺい前を出発。新東名から中部横断道を経由し、9:05 四尾連湖登山口に到着。準備体操を済ませ、9:20 に駐車場のおじさんの「簡単に登れる山。晴れば素晴らしい景色が観える。」との声に送り出されて出発。山頂からの大展望、富士山・南アルプス・八ヶ岳・奥秩父の山々を期待しながら、大畠山分岐、西肩峠で六地藏を拝み休憩を取って進む。山頂手前に少し急登があったが、ゆっくり慎重な足取りで登る。11:05 蛾ヶ岳(1279m)に登頂し、三角点を確認。天候は曇り空から回復せず、期待していた大展望は観れず残念であったが、昼食を取りながら眼下に広がる甲府盆地の町並みを展望し、心が安らぐ思いがした。11:40 山頂を出発。西肩峠の分岐点で大畠山へ向かう。12:38 大畠山(1117.6m)に到着。山頂には、可愛らしいヒトリシズカ(一人静)の白い花が群生していた。花言葉は「隠された美」「愛にこたえて」。別名のヨシノシズカ(吉野静)は、吉野山で踊る静御前のことを指しているようで、花言葉に納得した。時々顔を出す太陽に新緑が輝き、木立の間から光が洩れる様にエネルギーを貰った。痩せた尾根など山道を楽しみながら歩き、12:42 登山口に下山。四尾連湖畔を暫し散策し、静岡に向かう。途中、下部温泉に立ち寄り16:30 静岡駅に到着。

参加者：20名（静岡北 16、静岡南 1、静岡西 3）

天気：曇り

地図：市川大門

コースタイム：静岡 650＝新東名＝中部横断道＝四尾連湖登山口 905-20…西肩峠 1040…蛾ヶ岳(昼食)1105-40…西肩峠 1230…大畠山 1238…登山口 1242…四尾連湖畔散策 1303…登山口 1130＝下部温泉 1400＝静岡駅 1630

記録：静岡北支部 長島